

隙間緑

一隙間緑の取り組み・実践一

昨年度、私たちの班は「豊中のみどりを増やす」為に「隙間緑」で取り組む事になりました。住民参加型で実践したいとの意見の元、現地視察を行った結果、庄内西町の親和自治会館の前庭を、テストケースとして立案し、具体的な完成予想図も作りました。作業はいつも楽しく進み、ほぼ計画通り完成しました。ここで修得した「隙間緑」は、今後も活用したい手法で、「みどりを作り育てる」市民緑として何時でもチャレンジできたらと願っております。また今年度は、みどりを上手に増やすために、花苗を種から育てる育苗実験を行っています。

豊中みどりの交流会

-こんな活動やっています-

地域緑

一地域緑のマップづくり実施してますー

地域緑では、地域緑ツアーを6月に開催しました。今回ツアーでは、目を市外にも向けて、猪名川 旧堤防の自然林を、自然のままにある豊中市側と市民サポーターが手を入れている尼崎市側との比較を体験したり、都市部では珍しく周辺に水田が多く残る田能農業公園の見学をして、ここで広く活動しておられる『自然と文化の森協会』の方からお話をお伺いしました。

学習緑

一豊中のみどりを知る学習会企画一

学習緑では、ミニ里山ツアー～あなたのここらにのこる里山は？～を6月10日に開催しました。市内(東泉丘)に残る里山風景を観察しながら、鳥や昆虫の話から生態系や人との関係、環境につながるような話につながりました。

自然の変化を感じるため、秋版ミニ里山ツアーを9月16日(日)に開催します！ヒガンバナが咲く頃、一緒にみどりを体感しましょう。また、学校などへの提案企画も検討中です。皆様のご参加をお待ちしています。

情報緑

一みどりの情報発信していますー

5月に「豊中みどりだより」を創刊し、広くご意見・ご感想をいただきました。引き続き“みどり”に関する話題や情報をわかりやすく発信していきます。

また、「みどりのすだれ運動」に賛同し、豊中みどりの交流会に参加された方々や市内の小学校へ、情報緑グループのメンバーが育苗したゴーヤの苗を配布しました。ゴーヤを育てる過程での感想・温度変化・被覆面積などをまとめていきます。

10月には、「豊中みどりの交流会 2007」を開催します。



第2号/2007.9月発行

豊中みどりだよりは、みんなで、どンドン、りよっか(緑化)しよう!という意味を込めて、豊中市でみどり活動を進められている方に向けて発信するニュースです。



Toyonaka Green Action

豊中みどりだより第2号

特集「みどり」を育てて・食べる



箕輪小学校でみどりのすだれ
ゴーヤを収穫して、ニコリ♪はいチーズ!

豊中みどりの交流会 2007 開催 ひろげようみどりの和 ～みどり豊かなまちづくりをめざして～

下記要領で、今年もみどりのフォーラムを開催します。みなさんぜひご参加ください!

- 日時：2007年10月21日(日)午後1:30～4:00
- 開場：午前10:00(視聴覚室：パネル展コーナー)
- 会場：男女共同参画推進センターすてっぷ (エトレ豊中5F)



- 内容：
 - ▼講演「一鉢から始めよう、みどりのまちづくり」
 - 二見恵美子さん(環境デザインE.M.I.PROJECT代表)
 - ▼事例発表：豊中駅前まちづくり推進協議会、まちづくり協議会そね21の会、箕輪小学校、豊中みどりの交流会
 - ▼パネル展示、みどりのビデオ放映、花のポット苗のプレゼントあり!

■お問い合わせは
豊中みどりの交流会2007実行委員会事務局まで
豊中市公園みどり推進課
〒561-8501 豊中市中桜塚3丁目1番1号
TEL06-6858-2883 FAX06-6842-2802



昨年のフォーラムの様子

豊中みどりだより第2号の発行に当たって
創刊号及び7/22の交流会の「年中行事と緑」において、いくつかの誤字脱字がありました。今後校正には十分注意します。
「みどりの」情報を市民の皆さんに正しく伝えるために、正しい文字で正確に伝える責務がありますので慎重に校正して愛される情報誌として育てていきたいと思っております。
(林)

【箕輪小学校でゴーヤ育てます!】

豊中市内には、41校の小学校があります。木々に囲まれ緑の多い学校もたくさんあります。本校は運動場周りにも大きな木は少なく、中庭・学級園等も含めみどりに恵まれているとは決して言えません。そんな中、児童がプランターに草花を植えたり、今年度は地域の方々のお力添えもあり、ゴーヤを育てたりしています。みどりを大切に育てる、心優しい子どもたちになってほしいものです。
[箕輪小学校]

豊中みどりの交流会2007にて生徒による成長記録の発表があります

豊中みどりの交流会(全体会のご案内)

今回は、下記日程で開催します。

ふるってご参加ください

- 日時：9月30日(日)10:00～12:00
- 場所：花とみどりの相談所
- 内容：フォーラムについて ほか

特集：「みどり」を育てて・食べる
カメムシが教えてくれたこと

みなさんは、自然の恵みを受けた健康な食品を口にしたいと思いませんか？無農薬による自然農法で頑張っている農家があります。これを支援するNPO法人「メダカのがっこう」の理事長中村陽子さんのコラム(抜粋)を紹介します。

■カメムシの害とは

カメムシの害にあったお米は、斑点米と呼ばれています。お米の形が少し欠けていて、そのふちがこげ茶色になっているお米が斑点米です。稲の穂が出てから登熟するまでの間に、カメムシにお米の中身を少し吸われてしまうと、こうなります。これだけなら、まったく無害である上、お米の味も変わりません。

それに対して農家は、カメムシを殺す農薬をまきます。斑点米は全く無害ですが、こちらの農薬は有害です。ミツバチが大量に死んだり、ゴイサギが口から血を出して死んだりしました。

■なぜ農薬をまくのか

それはわずかでも斑点米が入っていると、お米の評価が1等米から2等米に落ちてしまい、農協の買い上げ価格が下がってしまうからです。そうしないと消費者が買い求めるきれいなお米にならないからです。ではなぜ消費者は、自然界から取れる作物なのに、混ざり物のない工業製品みたいな規格米を求めるのでしょうか。

メダカのがっこうの各地の農家は、ほとんどカメムシの被害にあいませんでした。カメムシ被害地に囲まれている田んぼでもです。どうしてだろうと、稲刈り後の切り株を除いてみると、1株につき10匹以上も小さなクモ類がウロウロしていました。生物多様性の田んぼになっていると、生きものたちが守ってくれるのです。「無農薬だからカメムシの害は避けられない」とは限らない。こんな素晴らしい農家と向き合える素晴らしい消費者となって、いのち輝く瑞穂の国づくりを着実に進めていきたいものです。

ホームページアドレス <http://medaka-yoko.seesaa.net/>

(紹介者：久保 光)



カメムシ



斑点米

ゴーヤのお手軽レシピ

1. ゴーヤのゴマポン酢和え

〈材料〉

ゴーヤ、しょう油、すりゴマ、ポン酢

作り方：

下ごしらえ①ゴーヤは食べやすい厚さに切り、塩少々入れた熱湯でさっとゆがく。

②冷水で冷やす。

味付け

①しょう油少々で下味を付ける。↓絞る。

②すりゴマをたっぷり、ポン酢を控えめにに入れて和える。

2. ゴーヤのシーチキン和え

〈材料〉

ゴーヤ、シーチキンの缶詰(しょう油、マヨネーズ)

作り方：

下ごしらえ①ゴーヤは食べやすい厚さに切り、塩少々入れた熱湯でさっとゆがく。

②シーチキンとしょう油味が好きな方はしょう油を、マヨネーズが好きな方はマヨネーズを加えて和える。

3. ゴーヤのソフトイカ和え

〈材料〉

ゴーヤ、ソフト味付けイカ、すりゴマ、しょう油、みりん少々

作り方：下ごしらえは①と同じ。

①ソフト味付けイカを食べやすい大きさに切る。
②すりゴマ、イカ、しょう油、みりん少々を加えて和える。

*さっとゆでたオクラを加えてもおいしい！



かたつむりの
つらら

すべての生命は
一つの織物である。
それを織ったのは
私たち人間ではない。
私たち人間も一本の
織り糸に過ぎない。
生命の織物に対して
することは、
自分自身に対して
することなのだ。



現在のワシントン州全域に住んでいたインディア人・スカミッシュ族の首長シアトルがアメリカ大統領に宛てた手紙の一節。一八五四年大統領はインディア人たちの土地を買収し居留地をあたえたと申し出た。シアトル首長はこの条約に署名。今からほんの百五十年前当時、白人はアメリカ全土の制服をめざし、インディアンに暴虐の限りを尽くしていた。

豊中のみどりの団体紹介 シリーズ②

豊中緑化リーダー会

～花とみどりのあるまちづくり～

豊中市は、豊島公園内にある「花とみどりの相談所」で、3年前から「緑化リーダー養成講座」を開催しています。

今年3月、初級、中級、上級の3年間の講座を修了した第1期生は、「緑化リーダー養成講座」で学んだ基礎知識と育苗技術、ボランティア活動の経験を生かし、豊中のまちづくりに役立てたいとの思いから、講座修了者総意のもと、「豊中緑化リーダー会」を結成しました。

当会の「目的」は、花とみどりのある美しいまちづくりを進め、快適な生活環境を実現するため、緑化リーダー養成講座修了者が中心となって、都市緑化の推進や啓発活動を進めるとともに、地域の緑化活動や花いっぱい運動などのボランティア活動に参加・支援することです。

私たちは、「目的」を実現するために、

- * 市等から委託された公共施設等での花壇の設置や育成管理
- * 市や地域が実施するみどりのイベントへの参加・支援
- * 花いっぱい運動団体や自主管理団体等との協働及び支援
- * 会報の発行など情報の提供・啓発活動
- * 専門的な知識や技術の習得並びに調査・研究活動等の活動を行なってまいります。

毎年、「緑化リーダー養成講座」上級修了者を迎え、より充実したボランティア団体を目指しています。

今年度は、市内の公園などで花壇の整備、清掃などボランティア活動をしている「自主管理団体」に、当会と

皆さんとの協働で種子から花苗を育て、約2500株の苗を配布しました。今秋は、秋蒔き種子の花苗を育て、配布します。

来年度は、今年度の経験を生かして更に育苗数を増やしていく計画です。

また、「花とみどりの相談所」周辺での花壇の整備、イベント等に参加しながら、更なるレベルアップを目指していきます。

当会は発足したばかりで、まだまだ未熟なこともあるかと思いますが、温かく見守っていただき、ご指導・ご声援のほどよろしくお願いいたします。



(会の概要)

- 設立：2007年3月3日
- 会員数：39名
- 問い合わせ先：豊中市花とみどりの相談所 (電話) 06-6863-8730

「緑化リーダー養成講座」について：この講座は、豊中市が「市民の皆さんに、地域のみどりを守り育てていただくための知識を身につけていただく」と、平成16年に開講しました。種蒔きから花壇の管理、樹木の育成、イベントの開催など、月1回の講座と実習を行い、3年をかけて地域で実践していただける内容としています。